

まちづくり交付金 事後評価シート  
宇都宮中央地区

平成21年12月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮中央地区		面積	254
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	4,751.84百万円	国費率	0.4	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	<p>基幹事業 【道路】都心部道路景観整備(5路線)、自転車走行環境の創出(2路線)、交差点部分の段差解消等(3路線)、【公園】八幡山公園整備</p> <p>提案事業 【地域創造支援事業】新規開業の支援・育成、中心商店街の活性化、レンタサイクル事業、宇都宮城址公園モニュメント整備</p>	事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
	当初計画から削除した事業	<p>基幹事業 【地域生活基盤施設】ポケットパーク 【高質空間形成施設】宇都宮城址公園施設整備(土塁内)</p> <p>提案事業 【地域創造支援事業】多目的施設景観整備</p>	事業名		・地元合意形成に不測の日数を要し、交付期間内の事業実施が困難となったため ・事業内容の更なる検討が必要になったため	『市民が豊かに生活し、交流し合う賑わいのある都心づくり』等に 関連するが、指標及び数値目標は据え置く
	新たに追加した事業	<p>基幹事業 【公園】宇都宮城址公園 【地域生活基盤施設】多目的広場、宇都宮城址公園案内板、公共サインの整備 【高質空間形成施設】宇都宮城址公園施設整備(ライトアップ照明、緑道修景)、カスケード 【高次都市施設】地域交流センター(市民プラザ)、地域コミュニティセンター(葉瀬地区)</p> <p>提案事業 【地域創造支援事業】 若年夫婦世帯家賃補助、市民生活サポートセンター、景観資源調査</p>	事業名		・賑わい創出や市民サービス、交流機能の充実を図るため	『市民が豊かに生活し、交流し合う賑わいのある都心づくり』等に 関連するが、指標及び数値目標は据え置く
	交付期間の変更	当初 変更	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		—

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	事業所数	事業所	3,748	H16	3,800	H21		3,834	○	あり なし	出店促進事業や市街地再開発事業の推進、地域交流センター整備、拠点広場整備などの産業集積、交流機能との融合や賑わいのある場の形成による商業環境の改善と都心居住促進等の相乗効果により、事業所数の減少に歯止めがかかった。	平成23年5月
指標2	従業者数	人	34,780	H16	35,000	H21		37,787	○	あり なし	出店促進事業や市街地再開発事業の推進、地域交流センター整備、拠点広場整備などの産業集積、交流機能との融合や賑わいのある場の形成による商業環境の改善と都心居住促進等の相乗効果により、従業者数の減少に歯止めがかかった。	平成23年5月
指標3	通行量	人/日	15,679	H16	16,000	H21	14,417	10,038	△	あり なし	● 拠点広場整備やレンタサイクル事業等による回遊性向上に取り組んできたことで、事業期間中に一時微増に転じたが、近年の経済情勢の変動もあり、いまだ減少傾向にある。二期計画では公共交通の利便性向上・自転車利活用の促進、面的な賑わい創出など、来街者の増加とともに更なる回遊性向上への取組を推進する。	—
指標4	居住人口	人	16,186	H16	16,200	H21	16,096	15,830	△	あり なし	● 若年夫婦世帯家賃補助などの都心居住の促進策により、居住人口は減少傾向にはあるが、その傾向は緩やかになり、歯止めがかりつつある。二期計画では、生活支援機能の集積による快適なまちが暮らしの支援など、さらなる居住促進の取組を推進する。	平成22年5月
指標5	居住志向の住民の割合	%	10	H15	20	H21		12	△	あり なし	● 地域交流センターや市民生活サポートセンターなどの市民交流の拠点整備や、拠点広場整備など、多様な魅力のあるまちづくりに取り組んだことで、居住志向の割合は微増している。二期計画においては、市街地再開発事業の推進による生活支援機能の集積や、地域の資源を活用した催しの創出を図り、多様な魅力のある住んでみたいと思えるまちづくりに引き続き取り組んでいく。	—

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	鉄道駅乗降客数	人/日	81,502	H16			82,912	83,650		あり	都心居住の促進、多目的広場整備やイベント開催による賑わい創出により、鉄道駅(JR宇都宮駅、東武宇都宮駅)の乗降客数が増加に転じた。	平成23年5月
その他の数値指標2	観光ボランティア会員数	人	—	H16				38		あり	歴史資源として城址公園が整備されたことや、賑わい拠点の整備等により、市民のまちづくりへの意識が高まったことで、観光ボランティアとして活動する市民が増えている(H18設立時14名)。	—
その他の数値指標3										なし		

4) 定性的な効果発現状況 多目的広場(オリオン市民広場)や宇都宮城址公園、パンバ市民広場等におけるイベント開催など、市民や商店街による賑わいの創出に向けた取組が実施されている。市民のまちづくりへの意識が高まり、オリオン市民広場内交流施設(オリオンステーション)、城址公園(歴史資源)が、観光ボランティア等の活動の場としても利用されている


5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況	今後の対応方針等	
			モニタリング	住民参加プロセス
モニタリング	H21年度にモニタリングを実施 ①事業の進捗状況、②指標の達成状況・見込み等の確認、③今後の対応方針等を検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	まちづくりの目標達成の確実性向上を図るため、次期計画でもモニタリングを実施する。
住民参加プロセス	・まちづくり勉強会(都心部道路景観整備事業) ・イルミネーション事業など(魅力ある商店街等支援事業) ・『よみがえれ!宇都宮城』市民の会(宇都宮城址公園モニュメント整備)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	新たな中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業と連携しながら、今後とも市民、団体等の多様な担い手が参画するまちづくりを継続させていく。
持続的なまちづくり体制の構築	・『よみがえれ!宇都宮城』市民の会 ・宇都宮シティガイド協会(観光ボランティア)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	新たな中心市街地活性化基本計画のもと、組織の活動を支援していく。

様式2-2 地区の概要


宇都宮中央地区(栃木県宇都宮市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>大目標</b> 中核都市宇都宮にふさわしい賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち ・産業が活発に交流し、活気ある都心づくり ・市民が豊かに生活し、交流し合う賑わいのある都心づくり ・宇都宮らしい個性と景観のある顔を持った都心づくり ・高度な都市活動を支える都心づくり	事業所数	単位:事業所	3,748 H16	3,800 H21	3,834 H21
	従業者数	単位:人	34,780 H16	35,000 H21	37,787 H21
	通行量	単位:人/日	15,679 H16	16,000 H21	10,038 H21
	居住人口	単位:人	16,186 H16	16,200 H21	15,830 H21
	居住志向の住民の割合	単位:%	10 H15	20 H21	12 H21


**高質空間形成施設**  
宇都宮城址公園施設整備

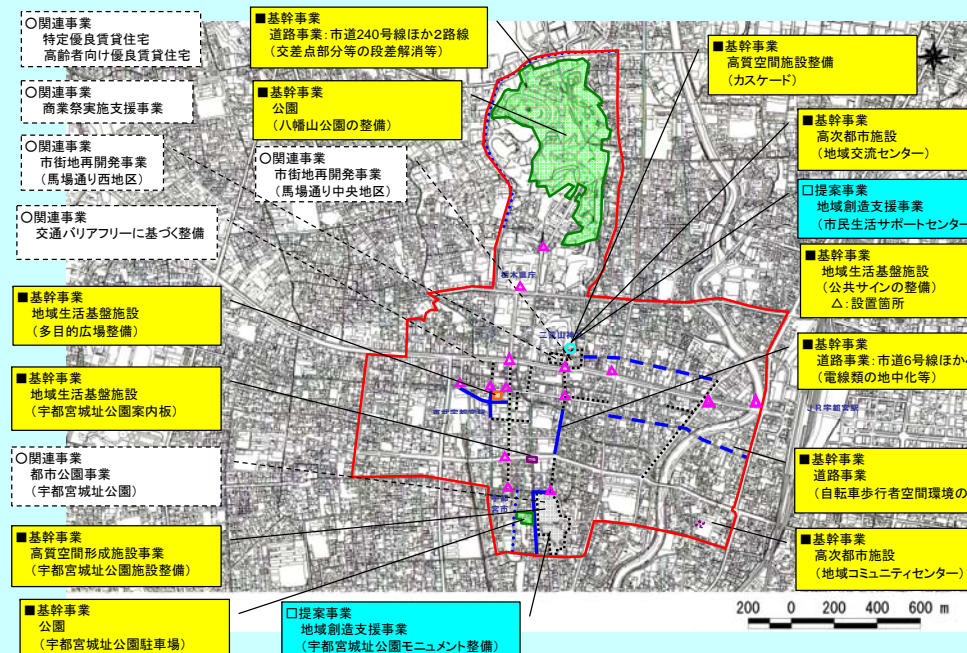


**地域創造支援事業**  
宇都宮城址公園モニュメント




**道路(都心部道路景観整備)**  
市道6号線(御橋通り)







**関連事業**  
市街地再開発事業(馬場通り中央地区) 表参道スクエア



**高次都市施設**  
地域交流センター(表参道スクエア5階、6階)



**地域創造支援事業**  
中心商店街活性化:魅力ある商店街等支援事業



**まちの課題の変化**

- ・本市都市拠点である中心市街地活性化計画区域内の事業所数、従業者数の減少傾向に歯止めがかかり、産業の衰退に改善の兆しがみえてきたが、経済情勢の変動もあり、中心商業エリアでは依然として空き店舗数が増加傾向にある。
- ・拠点広場の整備等により、イベントが開催され賑わいが創出されてきているとともに、市民、来街者が快適に回遊できる歩行空間を持った道路整備、レンタサイクル事業等の回遊性向上に取り組んだことで、中心商業地のメイン通りの通行量は事業期間中に一次微増に転じた。しかし、近年の経済情勢の変動もあり、いまだ通行量は減少傾向にある。
- ・都心居住促進策により、中心市街地活性化計画区域内の居住人口は減少傾向にあるものの、その傾向は緩やかになり、減少傾向に歯止めがかかると見込まれるが、賑わい創出のためには、今後は居住人口の増加を図っていく必要がある。
- ・賑わい創出や回遊性向上を図る事業、八幡山公園、市街地再開発事業の推進により、中心市街地への居住志向が微増している。
- ・低炭素型の環境にやさしいまちづくりを推進するため、過度な自動車依存からの脱却を図る必要がある。
- ・中心市街地に愛着を感じる傾向が低く、まちの没個性化が中心市街地の衰退の要因でもある。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

**中心市街地は、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点に位置付けており、宇都宮の顔にふさわしいまちづくりを進める必要がある。**

- ・中心商業エリアでは依然として空き店舗が増加傾向にあることから、中心商業エリアの再生を図るため、エリアの魅力を高め集客力の増強を図る。**【中心商業地の再生】**
- ・通行量は依然として減少していることから、既存ストック(市民プラザ・ファミリーサポートセンターや一時預かり保育等)のさらなる利活用促進により、子育て世代をはじめ幅広い世代の来街者(施設利用者、買物客、イベント客など)を増加させるとともに、回遊性を高めるため、市民や団体等と連携した面的な賑わい創出に取り組む。**【来街者の増加】**
- ・居住人口の減少傾向に歯止めはかかりつつあるが、高齢化の進展や少人数世帯の増加も進んでいることから、賑わいの源である居住人口を増加させるため、居住実態(世代、域内外転出入状況など)を踏まえ、市民ニーズにも対応した生活空間の形成によるさらなる都心居住の促進を図る。**【居住人口の増加】**
- ・過度な自動車依存の脱却を図り、多様な交通手段によるアクセス性向上、自転車も含めた公共交通等の利用促進により、環境にやさしいまちづくりに取り組む。**【過度な自動車依存からの脱却】**
- ・中心市街地への愛着を感じる傾向が低く、まちの没個性化が中心市街地の衰退の要因となっていることから、歴史(宇都宮城址公園、二荒山神社など)、自然(水・緑:金川、八幡山公園等)などの地域資源を活用した個性と楽しさが溢れる中心市街地を創出する。**【個性の創出】**